

ピスガからの風

第39号

2015年1月

社会福祉法人 近江ちいろば会

ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900 (代表)

FAX.0748-74-3910

http://chiiroba.jp/

寒中お見舞い申し上げます。

新しい年をお元気で迎えのことと存じます。

今年も、皆様にとって素晴らしい年でありますようにお祈り申し上げます。

消費増税10%を先送りされましたので、社会保障の削減が予想される中、地域の皆様の安心・安全をどのように確保するのが、大きなテーマとなっております。

知恵を絞り、汗をかいて希望が持てる仕事を行い、地域の皆様に貢献していきたいと願っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。



館長 森口 茂

2014年度管理職研修

9月18日(所長研修)、10月7日(主任研修)

2014年度の管理職研修は、公益財団法人松下資料館(京都市)で実施しました。これまでの研修とは異なり、今年は、「事業を行うこと、人を育てること、深くは、日々の生き方を考えることなど」を、松下幸之助氏の直の言葉や、松下幸之助氏に直接指導を受けた方々を通して、体験的に学ぶという方法を取りました。午前は松下資料館



館長の講話、午後は松下幸之助氏などのビデオを通して、仕事、商売、社会貢献、利益の本当の意味、任せて任さずなどの多くの考え方、生き方を学びました。

普段の業務とは違った視点で、自分、組織、仕事を見つめなおす良い機会となりました。大切なことは、業務に戻ってからも、この学んだ考え方や行動を実際に活かしていくことと決意をしました。

平成26年度近江ちいろば会 主任研修 研修資料まとめ
テーマ名 「おいしがる生活」 食の、暮ら、暮ら、暮ら、暮ら

平成26年10月7日(木)

①部下を育成するために私が実践すること

- ❖ 職員の思いを聞く。
- ❖ 欠点を伝えて、補いながらチームで動くこと。
- ❖ 感謝の気持ちを謙虚な姿勢で。
- ❖ 解らなければ他の人に聞く。
- ❖ 感情的にならずに、叱った後にははならずフォローする。(冷静に注意)
- ❖ 小さな気づかい、言葉づかい。
- ❖ 心に余裕を持つ。
- ❖ 根拠を持って伝えられる。

②事業の成果を出すために最も重要な取り組みとは

- ❖ 必要だと思われる場となこと、信頼されること。
- ❖ 顧客のニーズに応えられる。
- ❖ 共通の意識を持つ(基本理念と目標の把握)
- ❖ 挨拶の重要性
- ❖ 人材育成、離職の歯止めをかける。
- ❖ 目標達成のために長期短期目標をたてる。(PDCAをしっかりと行う)
- ❖ 職員のモチベーションをあげる。

ケアハウス 日帰りバス旅行 2014年11月7日

今回のバス旅行は世界遺産二条城の見学と、京都の亀岡に松茸を食べに出かけました。

京都に以前お住まいの方も多く、京都の街をバスで走っていると、「なつかしいなあ」という声や、「昔とはずいぶん変わったなあ」という声があり、住んでいた頃を思い出されていました。

二条城の見学では、「歩くのが大変だったけど、中に入ったのは初めてやった。良かったわあ」とおっしゃって下さいました。

そして、亀岡の湯の花温泉で松茸料理をいただきました。「松茸や肉等が食べきれないほど出てきて、お腹いっぱいになった。こんなに松茸が出てくるとは思ってなかった」と大満足された様子でした。



ケアハウス クリスマス会 2014年12月25日

ケアハウスのクリスマス会が、盛大に開催されました。

厨房が直営になり、以前より盛り沢山の食事内容で皆様、美味しい食事と楽しいお話で盛り上がりおられました。



また、京都から来られた「音楽のおもちゃ箱さん」によるバイオリンとピアノの演奏で心和まれ、12月からご入居いただいた方も、「美味しい食事をとりながら素晴らしい音楽を聴けるなんて」と、喜ばれていました。



厨房より



かつおのふりかけ

厨房では、なんでも最後まで無駄なく使う事をモットーにしています。かつおだしの有効利用として、ふりかけを作ってみました。かつお本来の旨みもさることながら栄養もあり、無添加で何より美味しいふりかけが出来ました。職員はもとより、利用者様にもご飯が進むと大変喜ばれています。

カルシウムは、転倒時の骨折予防や「肥満気味の人がカルシウムを多く摂ると、体脂肪が減る」といった新しい効能が報じられて注目を集めています。

寄付金・後援会費 感謝報告 2014年8月21日～2014年12月31日現在 (順不同・敬称略)

後援会	大石孝太郎	とみおか内科クリニック	前田 敬子	寄 附
成田 信義・由起	徳永 貞美	安野 喜仁・優美	信愛幼稚園	木下 孝
本田 和之	増井 武彦	田中 義久	うたごえ	望月 光行
細見 昌平	藤平 則夫	扇田 幹夫・紀子	植田 雄介	徳地 芳道
イエスキリスト広野教会	藤原 忠昭	辻 康	田辺 明子	安野 善仁・優美

事業内容

ケアハウス ピスガこうせい/ほだいじデイサービスセンター/ほだいじホームヘルプステーション/ほだいじ居宅介護支援センター/高齢者支援センターほだいじ/グループホームほだいじ/中央デイサービスしんあい/小規模多機能型居宅介護 ほだいじみんなの家/みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター)/ほだいじ訪問看護ステーション

発行日 2015年1月

発行責任者

理事長 奈良 豊 夫
館長 森口 茂

振込後援会費口座

取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 00960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費：年額1口5,000円(何口でも可)

創立19周年祝賀会 2014年9月5日(金)

来賓や職員おおよそ90名が参加して、創立19周年をお祝いしました。

今年度は、厨房が直営化したこともあり、盛りだくさんの料理、デザートで交流を深めました。また、10年表彰では4名の方が受賞され、代表してグループホーム 堀内所長が謝辞を述べられました。決意表明は、入職2年目の廣本職員が大きな声で行い、若い力に頼もしさをおぼえました。



基本理念：人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

グループホーム
みなくち みんなの家

一泊旅行

2014年
11月3日(月)・4日(火)



今回の一泊旅行は、石山寺散策と瀬田川沿いの洗心寮で昼食。おごと温泉琵琶湖グランドホテルで宴会。翌日は鮎家の郷へ立ち寄りしました。台風で延期となったおかげで、石山寺の紅葉も少し色づき綺麗でした。宴会でも食事やカラオケを楽しまれ、皆さんとっても良い表情でした。洗心寮や鮎家の郷では、お土産をたくさん買っておられました。



今年はどこになるでしょうか？
お楽しみに！

滋賀県老人福祉施設協議会研修大会 2014年11月11日(火)

テーマ：「医療・介護・家族の連携」
入居者様に合った食生活

発表者：北川 瑠美子 山内 千鶴

昨年度に引き続き、看取りに焦点をおき、「医療・介護・家族の連携」の大切さと、入居者様に合った食事の提供の取り組みを発表させて頂きました。

身体状況変化に合わせて、食事形態を変えたり、車いすの仕様を変えるなど、細かい配慮をしていることなどが評価されました。



クリスマス
ページェント
2014年
12月19日(金)

草津の信愛幼稚園児の方々が、クリスマスページェント(生誕劇)を演じてくださいました。

かわいい子供たちの一生懸命演じる姿に、ご利用者の方々は豊かなホッとした気持ちを持たれていました。

また、可愛い手作りのクリスマスの飾りをプレゼントしていただき、心のなごむ一日でした。



グループホーム ぼだいじ **食事会** 2014年9月13日(土)

今回は馴染みでもある、近江八幡 国民休暇村でのお食事会となりました。入居者様14名、ご家族様6名にご参加を頂きました。

一泊旅行から始まったこの会も10回目を迎え、毎回ご参加を頂いているご家族様もあらわれます。大変嬉しい限りです。

美味しいお食事と、琵琶湖を見渡せるロケーションは最高でした。

今年も多くの方にご参加いただける事を願っています。



日本通所ケア研究大会で発表 2014年11月8日～9日 会場：広島県福山市

知的障がい者のサービス利用
(その人らしく)

小規模多機能型居宅介護事業所
ぼだいじみんなの家
川田 久志 樋口 貴代

介護保険事業所である当事業所で、知的障がいをお持ちのご利用者の受け入れについて、障がい特性を理解する事の重要性、自閉症に配慮した環境作りの取り組みを発表させて頂きました。

今回発表させて頂き、そして、他の事業所の発表を聞く機会を通して、私たちの日々の取り組みをしっかりと見える形にすることも大切なことであると、改めて気づく機会となりました。



運動機能や意欲の維持向上に向けた
歩行のすすめ

ぼだいじデイサービスセンター

日本通所ケア研究大会に参加して、「運動機能や意欲の維持向上に向けた歩行のすすめ」というタイトルで取り組みを発表させていただきました。また、他事業所の事例からたくさんの事を学ばせていただきました。

今回の発表に向けて、パワーポイントで資料を作ったり、原稿用紙を作成したりと、様々な準備をしました。仕事をしながらで正直大変でしたが、その準備をしっかりとしていたので、発表当日は緊張することなく出来ました。また発表することにより、まとめる力、表現力の大切さを実感することができました。

次回発表する機会があれば、学んだことを活かしていき、今回の発表以上のものを作っていきたいと思います。

